

【著者紹介】

四方幸子 SHIKATA Yukiko

キュレーター／東京造形大学特任教授・多摩美術大学客員教授
メディアアート史・論／キュレーティング
「polar™[ポーラーエム]」展、山口情報芸術センター、2010年／
“UBERMORGENCOM - From Somebody's Desire to Responsibility for Everyone”, “Coded Cultures. - New Creative Practices out of Diversity”, edition: angewandte, SpringerWienNewYork, 2011年

日地谷＝キルシュネライトイルメラ

Irmela HIJIYA-KIRSCHNEREIT

ベルリン自由大学歴史文化研究部日本学科
日本近現代文学、比較文学

「私小説—自己暴露の儀式」平凡社 1992年、「日本文庫」編集、インゼル社34冊 1990—2000年、「MISHIMA! 三島由紀夫の知的ルーツと国際的インパクト」編集 昭和堂 2010年

坂井セシル Cécile SAKAI

パリディドロ第七大学、東アジア言語文化学部
日本近代文学

『日本の大衆小説』、朝比奈弘治訳、平凡社、1997年／*Kawabata le clair-obscur - Essai sur une écriture de l'ambiguïté*, PUF, 2001 / “Exil versus mondialisation : la littérature en langue japonaise ou le jeu de la marelle”, in *Imaginaires de l'exil dans les littératures contemporaines de Chine et du Japon*, Editions Picquier, 2012.

日比嘉高 HIBI Yoshitaka

名古屋大学大学院文学研究科
近現代日本文学、移民文学、出版文化

『〈自己表象〉の文学史——自分を書く小説の登場』翰林書房、2002年／
「日系アメリカ移民一世、その初期文学の世界」「移民研究年報」17、2011年／「ブライヴァシーの誕生——三島由紀夫「宴のあと」と文学、法、ゴシップ週刊誌」「思想」No.1030、2010年

康 東元 Kang Dongyuan

上海交通大学外国语学院日本语学部
日本近・現代文学、翻訳文学、書誌学

『日本近・現代文学の中国語訳総覧』勉誠出版、2006年1月／『日本近現代文学翻訳研究』上海交通大学出版社、2009年9月

大井田晴彦 OIDA Haruhiko

名古屋大学大学院文学研究科
日本古代文学

『うつは物語の世界』風間書房、2002年／「伊勢物語・惟喬親王章段の主題と方法」、「国語と国文学」第85巻9号

吳 保華 WU Baohua

上海交通大学外国语学院日本语学部
日本近代文学・日本文化
「志賀文学における小動物の死の心象風景について」、「岡大国文論稿」第30号、2002年3月／「志賀直哉と禅語」、「岡大国文論稿」第32号、2004年3月／「志賀文学における運命の超克」マルモ出版、2005年

陳 力衛 CHEN Liwei

成城大学経済学部
日本語学
『和製漢語の形成とその展開』汲古書院、2001年／「日本の諺・中国の諺」明治書院、2008年／「《共産党宣言》の翻譯問題」『二十一世紀』第九十三期、香港中文大学、2006年

秋庭史典 AKIBA Fuminori

名古屋大学大学院情報科学研究科
美学、芸術の哲学
『あたらしい美学をつくる』みすず書房、2011年／「実験と芸術研究」
『シンボルの修辞学』晶文社、2007年／『家族の肖像』エリプスガイド社、2006年

溝瀬久美子 MIZOBUCHI Kumiko

中部大学非常勤講師
映画史・映画理論
「国語科教育の中の『映画』—1950年代を中心に」、「Juncture」第1号、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター、2010年／「『文芸復興』としての『文芸映画』—1930年代日本における『文芸映画』ブームに関する再考察」、「映像学」75号、日本映像学会、2005年

大竹瑞穂 OTAKE Mizuho

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程
映画史・日本近現代文化史
「北海道の和人移住者の視点から見た『北方に鐘が鳴る』」「パンダライ」8号、2009年

木下耕介 KINOSHITA Kosuke

群馬県立女子大学文学部英米文化学科
映画理論・アメリカ映画
『アニー・ブラドックを探して——現代映画理論における同一化とアイデンティティー』『群馬県立女子大学紀要』第32号、2011年／『二つのロープ映画と演劇の時間経験に関する試論』、『演劇学論叢』第11号、大阪大学、2010年／“Focalization and Point of View in the Cinema,” Iconics Vol. 9, 日本映像学会、2008年

牧 義之 MAKI Yoshiyuki

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程

日本学術振興会特別研究員DC1

日本近代文学・近代出版メディア史

「帝国の出版メディア統制——『新刊弘報』の分析からみるその活動実態——」「日本学』第31輯、韓国・東國大学校文化学術院日本学研究所、2010年／「戦前の検閲と『改訂版』に関する一考察——昭和五年・発禁本『肉体の悪魔』と『武装せる市街』から——」「中京国文学』第30号、2011年／「森田草平『輪廻』の出版事情——発禁報道、検閲、伏字、版の異同」『出版研究』第41号、2011年

川合大輔 KAWAI Daisuke

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程

近代日本思想史

「土田杏村の初期思想——『入信問題』を中心に」「『哲学と教育』52号、2005年3月／「大正デモクラシー期における理論上の問題を考察する前に—1916年前半を例として—」「『哲学と教育』56号、2009年3月／「〈問題文藝〉論の位置と問題点—土田杏村の〈問題文藝〉論批判を手がかりにして—」「『哲学と教育』58号、2011年3月

孫 軍悦 SUN Junyu

東京大学教養学部

日本近現代文学、翻訳論

「悪と罪——文化大革命直後の中国大陸における日本推理映画の(翻訳)について」、「日本文学」61卷2号、2012年2月／「エロティックな通俗小説から格調の高いベストセラーへ——中国大陸における『村上春樹』というブランドの生成過程」、日本近代文学会関西支部編『村上春樹と小説の現在』、和泉書院、2011年3月／(訳書)溝口雄三『方法としての中国』、北京三聯書店、2011年7月

堀口真利子 HORIGUCHI Mariko

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程

日本現代文学

「『きらきらひかる』一恋愛の原点へと帰還する物語—」「江國香織を語る〈異性愛神話〉は崩壊したのか?」、「ホリー・ガーデン」「江國香織(ホリー・ガーデン)」2008／『村上春樹『ノルウェイの森』の研究』(共著)沖積舎、2011

杉淵洋一 SUGIBUCHI Yōichi

名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程

日本近代文学・比較文学・翻訳学

「フランス語版『或る女(前編)』(一九二六)」「有島武郎研究 第十二号」有島武郎研究会編、2009年／「〈草の葉会〉と〈ウイルソン倶楽部〉の有島武郎と鶴見祐輔」「日本比較文学会東京支部研究報告 第七号」日本比較文学会東京支部編、2010年／「ヨーロッパ体験が開示する石川三四郎の人的ネットワーク」「社会文学 第三十三号」日本社会文学会編、2011年。

水野勝仁 MIZUNO Masanori

東京藝術大学・名古屋芸術大学非常勤講師

インターフェイス論

「インターフェイス再考：マウスとデスクトップメタファーと結ぶヒトの身体」、「社会情報学研究」、日本社会情報学会(JSIS)、第13巻1号、2009年／「あいだを移行する↑」：エキソニモ《断末魔ウス》、《↑》におけるカーソルの諸相」、「映像学」、日本映像学会、第85号、2010年／「薄さ」を与えた平面：藤幡正樹の作品における「平面」の諸相」、「Juncture：超域的日本文化研究」、名古屋大学大学院文学研究科付属日本近現代文化研究センター、第2号、2011年

坂井辰司 SAKAI Shinji

名古屋大学大学院文学研究科博士前期課程

映画学・映画理論

藤木秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院文学研究科

映像文化

"Movie Advertisements and the Formation of a New Visual Environment in Interwar Japan." *Japan Forum* vol. 23, 1 (2011); *Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan* (Harvard University Asia Center, forthcoming); "Creating the Audience: Cinema as Popular Recreation and Social Education in Modern Japan" in *Oxford Handbook of Japanese Cinema*, ed. Daisuke Miyao (Oxford University Press, forthcoming).